



ARTS for HOPE



宮城チーム活動報告書 2013年9月14日

東松島・グリータウン矢本応急仮設住宅

ひまわり集会所

集会所には、開始時刻より早くから、常連の方たちが集まってくださいました。「ハッピードール」がある日をめがけ、なにをつくるかも決めて来られる方も多く、マイソーイングボックス持参は、今では当たり前の光景となった次第です。

子どもたちの参加は2名。小学生の姉妹です。おばあちゃんに教えられながら、玉結びや、布地の切り方などを挑戦しつつ、作品づくりに励みました。ちぐはぐな縫い目や、途中で結び目ができてしまった2本取りの糸に悪戦苦闘しながらも、大人たちに、「やっぱり子どもの発想は自由で面白いねえ」と言わしめる楽しい作品が出来上がってゆきます。材料を手にし、思いめぐらせた頭に浮かんだ事柄を、物語をつくってゆくように、かたちにしてゆく工程は、なにより見ていてとても楽しそうです。昔子どもだったお母さんたちも、使えて楽しいものづくりに精を出します。

布製のリース、コサージュのような作品。わからないところの作り方の教え合いっこも、大人同士の知恵の蓄積がものをいっている感じです。

